菊の花言葉: 高貴、真実

県政レポート(2021年10月発行)[第20号]



第20話 つなぐ役目

三全 員になって丸5年が経ちました。年々い **口找** ろんな繋がりが増えていく中で、最近は 現場で支援している方を、外からサポートするこ とも増えている気がします。

たとえば、ひとり親家庭支援にあたる相談員 さんに、保育園や家探しを手伝ってくださる方 をご紹介したり、学校の先生が抱えておられる 生徒達の悩みを聞いて、校内のカフェを通じて サポートしたり。

大変さを抱えている現場がいろいろある中 で、外から新たに支援者がつながることが出来 れば、問題の山を小さくすることができます。そん な繋ぎができるのも議員の役目の1つかなと思 います。

「グリーンコープ 生協おかやま」さ んが担う家計の 相談支援も大事 な繋ぎ先です。



日々のうごき 2021年7月~10月

- 岡山口ボケアセンター見学
- 7.5 6月議会閉会、県政テレビ番組収録 @RSK、VSCO訪問
- 総務委員会県内調査(高齢者の移動 支援@備前、砂川改修工事)
- みどり岡山総会 7.11
- 7.13 福島原発おかやま訴訟傍聴、OT支 援の視察@精華学園高校
- 7.14 岡山県木材組合連合会に訪問 7.15 常任委員会(農林水産委員会)、さんか
- くナビ訪問 農林水産委員会県内調査(児島湾
- 締切堤防、三徳園、備前県民局、JA岡山 一宮中央選果場



- 7.17 たんぽぽネットワーク勉強会、おかや まいっぽん合同街宣@倉敷駅
- 旭川水質調査@AR-NET 7.19
- みつカフェ@岡山御津高校



- 7.20 気候変動対策の意見交換会online 7.21 ヤングケアラー支援のお話@おかや ま児童虐待事例研究会
- 7.22 原田ケンスケ後援会総会&キックオ フ集会
- 7.23 ルーラルカプリ川羊牧場見学
- ユニオン岡山第20回定期大会
- 7.27 いっぽ通信プラス動画収録
- 7.28 安保法制訴訟傍聴、たけべ部放課
- 7.30 ワクチンの意見交換@倉敷
- 7.31 百間川ゴミ清掃、気候変動のおかや

- こども音楽鑑賞教室@建部町文化 8.31 教員の働き方の話@県教組 ヤンター
- 8.2 たねをまもる会岡山定例会
- 中国四国地方環境事務所訪問、DV 防止サポートシステムをつなぐ会



- 8.5 特別支援教育の意見交換@岡山
- 録@すこやか未来、真備町スタディー
- 加茂川ホリデイフォレ スター(檜の下刈)、御津 五城村リニュアルオー
- フラワーデモ@エキチカ広場
- 8.12 常仟委員会
- 8.17 岡山市障害者基幹相談支援セン ター訪問
- 住定住支援協議会
- 川荘あおば訪問
- 8.20 常任委員会、LITALICOワークス岡 山訪問、岡山市移住定住座談会
- 8.24 福島原発おかやま訴訟傍聴、おかや まオーガニック訪問、気候変動意見
- 交換会online
- 8.26 特別委員会(教育再生・子ども応援).
- 8.27 岡山市家計改善支援の話@障害者
- 8.28 虹とみどり自治体政策情報センター 研修

9.1



- 御津高校
- 食のちから応援プロジェクト動画収 ツアー、エネルギーまちづくり講演会 @エネミラonline
- プン、Vネット設立会議

- 8.18 種とゲノム編集の講演会、岡山市移
- 8.19 岡山市さんかくプラン意見交換、旭
- 8.21 加茂川ホリデイフォレスター(山神宮)、 地方の子どもの居場所を考える講 座online
- 8.25 常任委員会、みどり岡山会議
- ヤングケアラーよる会@おかやま NPOセンター
- 生活支援センターこらーれ ティングonline
- 10.8 性教育のヒアリング
- 8.30 バクチャー見学@津山市・新庄村

- 「緑と水の道」の話@絵図町、強度
- - 9.2 たねをまもる会岡山定例会 気候変動のおかやま学online 9.4



行動障害の意見交換@旭川荘

- 9月議会開会 9.6
- 9.7 ゆいネット協議会online
- 代表質問(鳥井議員)、ストップ性暴力 9.9 の会online
- 9.11 山神宮上棟式@吉備中央町本宮山
- 9.14 一般質問(~9.28)、9.16に登壇
- 「中山間地域の暮らしをまもる」 フォーラム@建部
- 9.16 RFSAS教育活用ワークショップ
- 9.21 空き家見学@建部町品田、食の意 見交換@木村式自然栽培実行委員 会、高校居場所カフェスタッフ研修 online
- 9.24 世界気候アクション@岡山
- 9.25 手話講座@建部町公民館
- 9.27 パッシブハウス勉強会@倉敷木材
- 竜墨書道会展、稲穂の会展、「営農 型ソーラー発電と中小企業の脱炭 素 l 講座online
- 9.29 特別委員会
- 9.30 常仟委員会、認知症支援の議会勉 強会、ヤングケアラーの意見交換、 公共施設脱炭素戦略online、
- 10.3 岡川きょうだい会ボランティア会議
- 10.4 9月議会閉会 みつカフェ
- 10.5 ひだまりカフェ訪問@吉備中央町 福鳥原発おかやま訴訟傍聴
- 10.6 テレロボ [kubi] 見学、DV防止サ ポートシステムをつなぐ会 10.7 条例案の会派会議、みつカフェミー
- 10.10 ししまいシンポジウム@御津公民館、 原田ケンスケ総決起集会

リフレッシュ

p.04







1974年1月10日生まれ。旭操小学校、 操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学 教育学部卒業。99年より福島県で農

おおつかあい・プロフィール

業研修。4年間の大工修業の後、自宅 を建て、大工として働く。2011年3月福 島原発事故により一家で岡山に避難。 5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち 上げ、避難移住者のサポートや福島の 子ども達の保養受け入れなどを行う。北 区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。 2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員 大塚愛県政レポート[第20号] 発行: 2021年10月(2021年9月議会報告)

最新情報を発信しています

- Facebook
- ・みどり岡山 www.facebook.com/greenokavama
- 大塚愛 www.facebook.com/ohtsuka.ai.3

http://midori-okavama.org

₹700-0971

岡山市北区野田5-8-11

Tel:086-244-7721 Fax:086-244-7724

e-mail:info@midori-okavama.org http://midori-okayama.org/ [自宅]

₹709-3122

[事務所]

岡山市北区建部町吉田321 携帯: 070-5056-3808 e-mail:ai.raku@shokan.ip



なさま、こんにちは。

け コロナ感染の第五波

が収まり、季節は実りの秋を

迎えました。今年はコロナの

影響でお米が余り、大幅な

価格下落が懸念されていて、

国による買い上げやお米の活

用など、農家の方を守る対策

子ども達が竹で筏を作って、旭川で浮かべてみまし

た。コロナで遠出ができなくても、身近な自然の中

には遊びが沢山あります。

が求められます。

あい

P.01 子どもたちの孤立を防ぐ支援や居場所を

P.02-03 おもな活動記録から「食のちから応援プロジェクト」

一方、ある県内の高校で「なスマホを持ち普通に暮らし で、困窮する子ども達の姿は 見えにくく、気づかれにくいもの

痛めています。 新型コロナの影響が家庭 環境を悪化させたことも考え

> られますが、このよう な困難な状況はそ れ以前からもあった ものです。

は、お弁当を持って来れずお

腹を空かせた生徒が何人も

いることを聞き、中には「昨日

から何も食べていない | 生徒

もいたということで、大変胸を

背景には、非正 規雇用が約4割を 占め、ひとり親家庭 の半分が貧困状 態にあることや、貧 困の連鎖などから 生じるネグレクトが 増えている現状が あると言えます。

ているように見える社会の中

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2021年7月~10月)

いっぱ通信

強度行動障害、気候変動について

そこには経済的貧困だけ ではなく、人との関わりが少な く、頼れる人がいないという孤 立の問題が拍車をかけてい ます。

私はこのような窮状を目の 当たりにする度に、いま困難の 中にある子どもや家庭を支 え、社会からこぼれ落ちそうな 若者を支えていくことこそ、少 子高齢化を迎える日本にとっ て大事なことではないかと強く 思います。国政においても、な かなか進まない分配の議論 を本気で進め、格差社会の 底上げをしてほしいものです。

このような問題がコロナ禍 令和のいま、み | で浮き彫りになる中で、県内で | 思います。



貧困・引きこもり・難病 等の制度の狭間で届 かない困難を抱える子 どもに支援を届ける基 金です。



https://kotomofund.jp/

もNPOや企業などが連携を して、困難を抱える子ども達を 支援する動きが活発になされ ています。私も民間支援の一 つとして、高校生に寄り添う居 場所カフェで活動しています が、困ったらSOSが出せる、人 に頼ってもいいんだと思えるよ うな居場所を、地域や学校に 少しずつ増やしていけたらと

p.02-03 岡山県議会議員/大塚愛県政レポート・第20号(2021年10月発行)

9月議会一般質問から 気候変動をふせぐ脱炭素はいかに 🧱



強度行動障害に ついて

強度行動障害とは、重度の知的 • 障がいや自閉症を併せもつことが 多く、コミュニケーションが苦手、見通しがな いことが不安、感覚過敏などの特徴をもって いて、生活や成長の過程で「分からない」 「分かってもらえない」という辛い体験を繰り 返すことで、ある時期から自分の体や他人を 傷つけるような行動を取るようになってしまう 状態のことを言います。

一昨年度に行われた調査では、強度行 動障害のある方は県内に388名おられるこ とがわかっています。国は1993年からこの 支援のためのモデル事業を始め、県内でも | フォローアップ支援について、検討すべきと



最近の報道でも、各地で障害者虐待が相次ぎました。対応 力向上や施設を孤立させないサポートが大事です。

強度行動障害について理解を深め、適切 な関わりを続けることで、暴れていた方たち が落ち着いて生活できるようになる成功事 例を積み重ねている施設もいくつかあります。 一方で、県内の障害者支援施設や医療機 関の半数以上が、「支援上の困難を感じて いる 現状も調査で明らかになっていて、特 に医療機関では困難度合いが高いことが 分かっています。

強度行動障害に関わる課題は山のよう に積み重なっている状況と感じますが、今後 の対策を考えていくためには、福祉、医療、 教育などの関連機関が連携できる場や、在 宅者や施設の詳しい実態把握が必要で す。また、対応力向上と負担軽減のための

A [保健福祉部長].強度行動障害のあ る人に関わる支援者が、多くの困難や 負担を感じながら支援にあたってい ると認識しており、障害特性に応じた 支援のスキルアップを望む声も寄せ られている。より効果的な支援につい て専門的な協議をするために、自立 支援協議会の中に部会を設置し、実 態把握することを検討していきたい。

強度行動障害とは







激しい噛みつきや頭突きなどの他 害や自傷行為、もの壊し等が頻繁 にある状態自閉症の特徴を理解し た支援が必要で、高い専門性が求 められる

また、対応力向上と負担軽減のためのフォ ローアップについても、この部会で検討して いきたい。

気候変動について

今年の夏も各地で観測史上を超 える大雨が降りました。今年8月に 出されたIPCC第六次評価報告書では、 「人間の活動による影響が大気や海洋、陸 地を温暖化させたのは疑いの余地がない」 と初めて断定しました。気候変動は地球規 模で起こっているので、すぐ目の前に見える 問題よりも捉えにくいですが、もしこのまま事 態が進んで多くの人が「本当に大変だ」と

実感する頃には、もう手遅れになっている問 題ではないかと思います。今後、県の地球温 暖化防止行動計画の見直しにあたって、知 事は庁内にどのような指示を出していますか。 A [知事]. 地球温暖化対策は、将来世代へ 安心で豊かな環境を引き継ぐためにも極め て重要な政策課題であり、関係する全ての 部署が主体的に取り組むよう、私から全部 局長に指示している。

温暖化対策を県民総ぐるみで協 • 議する温プロ会議(地球温暖化防 止プロジェクト推進会議)では、より活発な議 論を展開していただきたい。今後の会議で は、省エネや再生可能エネルギー(以下、再 エネ)、建築などの専門的知見のある方にも 参画していただくことが必要ではないか。

A [環境文化部長]. 新たに国や関係分野の 事業者団体に委員として参画いただき、これ まで以上に幅広い観点から活発な議論が 行われるよう努めます。

温暖化の問題は、将来世代にとっ てより影響が心配される問題なの で、当事者である高校生などの意見を聞き、 計画に反映させていくことが大事ですがい かがか?

A [環境文化部長]. 地球温暖化対策に関心

のある高校生が参加する「エコるんク ラブ を活用するなど、若い世代の意 見交換が十分に行われる場を設け、 計画の見直しに活かしていきたい。

県では岡山県地球温暖化 ✓ ● 防止活動推進センターと連 携して、温暖化防止の啓発を行ってき ましたが、家庭や業務分野の削減実 績は伸び悩んでいる現状があります。 今後は住宅の断熱化や再エネについ ての情報発信を行うなど、CO2削減

効果の高い内容を加えて広報していく必要 | 提供や相談支援などを行っていくには、その がありますが、いかがですか?

A [環境文化部長]. お話の通り、今後、住宅の 断熱化や地域での再エネの普及促進が大 きな課題になる中、より効果的な工法がで きるよう、内容や発信方法を図っていきた

新型コロナウイルス感染症は、社 • 会や経済の在り方を大きく変化さ せていますが、時期を同じくしてカーボン ニュートラルへ舵が切られる中で、環境、社 会、経済が統合的な目標に向けて発展して いくという方向性が求められています。

今後、RE100など環境への配慮が一層 求められてくる中で、中小企業に的確な情報



が、適切な断熱をすることで、エネルギー消費を減ら し、快適さや健康面がUPします。

ニーズ把握も必要では?

A [産業労働部長] 国がカーボンニュートラル を宣言する中、大企業を中心に、自社だけで なく、サプライチェーン全体での脱炭素を目 指す動きが見え始めているところです。県内 中小企業においても、今後取引先から再工 ネ導入など、脱炭素化が求められることが 想定されるため、支援機関と連携しながら、 中小企業がとるべき対策についての課題や ニーズを把握し、必要な情報提供や支援制 度の紹介など対応していきたい。

RE100とは…… 企業が自らの事業の使用電力を 100%再エネで賄うこと。イオン、パナソニックなど 国内62社が参加(10月現在)。

食のちから応援プロジェクト 動画撮影

@すこやか未来(8月6日)

山市のある幼稚園で行われた調査 では、毎日の食事にミネラル(ふりか けやだし)を補い、テレビなど画面を見る時 間を減らし、体をしっかり動かして遊ぶこと で、発達が気になる子ども達も落ち着いて 生活できたり、発達や成長がグンと伸びる 変化が見られました。農薬などの化学物

質が子どもの脳神経に影響することは研 究者からも指摘されていますが、小児科医 の木林京子先生が行われた今回の調査

は、子どものすこやかな育ちを食生 活から守っていけるヒントを伝えてい ると思います。この情報をより多くの 人に届けたいと思い、木林先生と動 画を作成しました。関心がある方は、



こちらのQRコードから ご覧いただければと思

おもな「活動記録 から



木林先生は第3日曜に 「街のすこやか保健室」 も運営されています。

公式LINEの

山神宮上棟

@吉備中央町本宮山(9月11日)

プロボリディフォレスターは、吉備中央町を拠点に発足19年となりま すが、森づくりや木工が好きなメンバーが 毎月2回集まって、山の下刈りや間伐、製材 や木工教室の開催、きのこの栽培などを 行っています。私も5年前から大工担当とし て活動しています。

この日は本宮山山頂にある山神宮の上 屋を上棟しました。材料の栗の木も丸太 から製材し、加工、組み立てをして、屋根は 銅板で葺きました。木を使って自分達の手 で作ること、山の木や山菜、自然の恵みを 知ることは、便利な現代でも受け継ぐべき 大切な知恵であると感じています。この会 ではメンバーも募集していますので、見学 にお越しください。

活動日:毎月第2・4土曜9~15時 お問い合わせは事務局(岡山森林組合加茂川 支所内) 0867-34-1150まで



作りした屋根 が完成。小鳥